



# 燦さんらん 爛

## 「自己管理能力」を高める20日間に 明日から冬休み

12月26日(火)～1月13日(土)は、大仙市の小中学校の冬休みです。さらに、最終日の翌日が日曜日となりますので、実質20日間の休みとなります。

先々週から3年生、2年生、1年生とインフルエンザが流行してしまい、大変ご心配をおかけしております。これまでの罹患者は、先週中に出勤停止が明けましたが、週明けに新たな欠席者も出ており、まだ完全に流行が沈静化したとは言えない状況です。県内ではインフルエンザだけでなく、新型コロナや感染性胃腸炎も増加傾向にあるようですので、再流行がないことを願っています。

後期前半の区切りとなる本日12月25日(月)には、「冬休み前集会」を行いました。集会では、各学年の代表が、前期前半の振り返りや今後の抱負などを発表してくれました。2年M.Yさんは「後期前半は勉強、行事、部活を頑張ってきた。冬休みは体調管理や自分の立てた計画の実行、家族の手伝いをして、気持ちよく今年を締めくくり、新年のよいスタートを切りたい」、3年S.Mさんは「高校入試を控えているので、意志を強くもって自分の苦手なことにも取り組んでいきたい」といった内容でした(1年生の発表予定者は、残念ながら欠席でした)。

校長からは「3年生にとっては、一秒も無駄にできない『正念場』の冬休みである」と、「1,2年生もそんな3年生の姿を他人事と思わず、今後のためにも『自己管理能力』を高める休みにしてほしい」ことなどをお話しました。冬休みは家で過ごす時間が長くなると思いますので、自分を律して計画に沿った生活が続けられるようご家庭でもお声がけいただけましたら幸いです(生徒には「言われてからやるようでは、本物の『自己管理』ではない」と言いましたが…)。



明日から、夏休みに次ぐ長い休みとなりますが、誘惑に負けず、生活のリズムを崩さないように留意し、健康的に過ごしてほしいと思います。

### 第2回 家庭学習ノートを見合う会



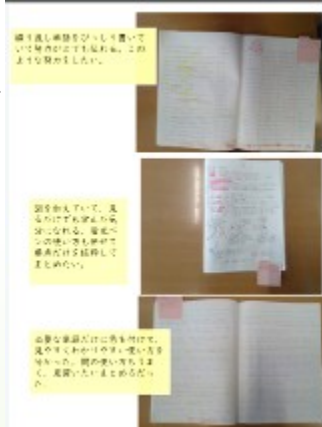
友達のノートを撮る1年生(左)とコメントを入力する3年生(右)

12月15日(金)の朝、学習委員会主催による、今年度2回目の「家庭学習ノートを見合う会」を行いました。

今回は、夏休み前にこの会を行い、各学年の教室を回りながら、他学年のノートを見合いましたが、今回は学年ごとにクラスメイトのノートを見合うことにしました。また、見てもらう人に「自分はこういう工夫をした」とか、「これを覚えるためにこんな学習方法をとった」といったことが説明できるようなノートづくりをするように事前の呼びかけがあり、生徒たちもこの一週間ほどは、そういったことを意識して家庭学習に取り組んでいたようでした。

当日は、各自の机に並べられたノートを互いに見ながら、特に参考になったものをタブレットで撮影し、MetaMojiでコメントを書き加えていました。それぞれに友達のノートづくりから、自分の学習にも生かせるポイントを見つけることができていたようです。

私(校長)も、週1回各学年の家庭学習ノートを見せてもらっていますが、しっかり目的意識をもって取り組んでいる生徒が多い反面、「ただページを埋めることがノルマのように思っているのではないか」とか、「字が雑で、後から見返したときに学習した内容が思い出せるのか」といったことを感じるノートもあります。今回の会は、それぞれが自身の学習の仕方を見つめ直すというねらいもありますので、一人一人が自分の今後の取組に生かせるものであってほしいと思います。冬休みに向けた意識付けにつながってくれることを願っています。



3人のノートに感想を記入してくれた人も

## 指導主事計画訪問（技術）

12月15日(金)、南教育事務所雄勝出張所の阿部広美指導主事をお迎えし、技術科の指導主事訪問を行いました。

今回は、2年生の「未来を支える自動車のエネルギー変換技術」という授業を見ていただきました。授業は、持続可能な社会を築いていくためにはどのような動力の自動車がふさわしいのかをグループごとに調べ、互いに質問し合ったり、オンラインでつながったゲストティーチャーの方に直接お話を伺ったりするといった内容でした。



ゲストティーチャーにオンラインで直接質問

教室には2台の大型ディスプレイが並び、黒板代わりにメインのものと、ゲストティーチャーの方との通信用のものを使い分けながらスムーズな授業運びがなされていたほか、生徒たちもタブレットを上手に活用して資料を検索したり、質問に対する回答を作成したり、自分の考えをまとめたりすることを通して、環境や経済、社会（安全）の観点から、様々な動力源について思考・判断していました。

今回、ゲストティーチャーとして授業にご協力くださったトヨタ自動車は、2035年までに世界の自社工場で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出を実質ゼロにするという目標を発表しており、SDGsの取組への評価も国内1位となっています。こうした現場で働いている方の生のお話を聞いたことも、生徒たちの深い学びにつながったものと思います。



欠席者が多い日でしたがみんなしっかり頑張りました



トヨタの方もモニター越しに授業を見守っていただきました

授業研究会では、阿部指導主事より「生徒たちの粘り強さを感じた」「見通しをもたせ、もっと生徒に任せる授業展開にしてほしい」「アウトプット（話す）の時間を大切にしてほしい」といったご感想やご助言をいただきました。今年度の指導主事訪問はこれで最終となりますが、後期後半は我々教職員も今年度のまとめとして、これまでの研修を生かした授業づくりをさらに進めてまいりたいと思います。

**自動車メーカーの協力も得て  
持続可能な社会につながる  
エネルギーについて考察**

### 東北電力 第49回 中学生作文コンクール

佳作 T.R さん(2年) 「未来の僕に伝えたいこと」

今回は、「未来の自分に伝えたいこと」を基本テーマとして作品を募集し、東北6県および新潟県の中学校424校から、12,540編の応募があったそうです。

T.Rさんの作品は、東北電力のホームページで読むことができます。

[https://sakukon.tohoku-epco.co.jp/sakubun49/awards/akita/file\\_akita\\_05.pdf](https://sakukon.tohoku-epco.co.jp/sakubun49/awards/akita/file_akita_05.pdf)



### 第34回 伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞

佳作 I.M さん(3年) 「飼い猫が 一人で夜に 運動会」

日本一応募作品数が多い創作俳句コンテストで、今回は192万1,404句の応募があったそうです。



12月18日(月)に大仙市人権擁護委員の方がご来校くださり、学校便り第33号で紹介した、「令和5年度人権作文コンテスト」で「大曲人権擁護委員協議会長賞」を受賞したS.Eさん(2年)に、賞状を授与していただきました。

S.Eさん、おめでとうございます。また、わざわざご来校くださいました人権擁護委員の方にも感謝申し上げます。

**冬季休業中の  
学校閉庁日について  
お知らせとお願い**

冬季休業中も職員は原則勤務しておりますが、12月27日(水)~1月4日(木)は「学校閉庁日」となり、学校は無人になります。

この期間に緊急な連絡がある場合は、直接担任にお知らせくださるようお願いいたします。特に、事故等に関わることについては、なるべく速やかにお知らせいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。